

して、表面には大きな旗を立て、「祝入營」と書いて騒いでも裏の方では泣いて「飛んだ事になつた」といふやうな虚偽な國民を造る事に成るのであります、それ程嫌なれば「嫌だ〜」と言つて泣きながら道を歩いて行つたら宜いではないか、納戸では泣いて居つて、外へ出ては大きな「祝」といふ字を書いて送つて行くなどといふ虚偽の國民になつてはならぬ、軍人への勅諭にも「心誠ナラザレバ、如何ナル嘉言モ善行モ皆ウハベノ裝飾ニテ、何ノ用ニカハ立ツベキ」と示しになつて居る、今のやうな精神では眞に強い軍隊が出来得るとは信ぜられませぬ、泣き〜入營したやうな者を集めて、どうして強い軍隊が出来ますか、昔の武士が戰場に出るのに今日の入營者が納戸で泣いたやうな態度は薬にしたくもなかつたものであらうと考へる、私はそれが即ち唯物的の教育の弊害であると思ふ、今日世界の文化を毒して居るものは様々なる事柄となつて現れて居る、或は國際間の不和、權謀術數、或は階級間の争鬪軋轢、或は個人の墮落、種々なる弊害を示して居りますけれども、これを原頭にならして考へた

ならば、唯物思想の禍なりと断定して誤りなき事でありませぬ。この總ての禍を生み出したる唯物觀念を我が教育界に於て守持し、今尙ほ覺めたるが如く覺めざるが如く、その多數者は今も尙ほ唯物主義のやうに見受けらるゝのであります。總かに敬神崇祖の訓令を發しても、それはやはり形式的のものであつて、大多數の教育家の頭を支配して居るのは唯物主義でありますれば、聖旨に背く事大なりと申したいのであります、後にその譯柄は申し上げます。

又この勅語は國民道德の綱領大體をお示しになつたものであります、併し國民道德といふ事を今迄教育界に於てはどう解釋して居りますか。國民道德とは特殊道德であると前提して、我國の歴史に於て特別に發達したる特別なる道德と解して居る、特別といふ事も結構であるけれども、人として人類共通なる道德、世界人類の一員として當然守るべき道德、天地人三才の中の天地を戴いて立つ人としての道德總てを忘れて去つて、唯だ我國の歴史に發達したる忠孝道德に於てのみ説明する事になつては居ら